ttp://hakonetravelnews.net/

1/

箱根観光情報新聞 2025秋号第二版 令和7年11月5日発行

企画制作 箱根観光情報研究会 協力

箱根モビリティサービス 制作責任者:美馬 発行部数:700部

りでは箱根最大のツリーだ。 ラスをまとい、昼間は太陽 り、本紙が把握している限 イトアップで美しい姿を見 の光で輝き、夕方からはラ スツリーの中でも人気があ スツリー・アベーテ」が登 一万粒のクリスタルガ 全国の数あるクリスマ

たことから掲載を躊躇して せてくれるのだ。 スツリー?となる懸念があっ 号第二版だと秋にクリスマ の後半はご覧になれず、秋 えていたが、冬号では配布 紙紙面で取り上げたいと考 日〜翌年一月中旬まで。 ムが膨らみ、より輝きを増 今年からはガラスのボリュー た姿を楽しめるはずだ。 展示期間は例年一一月一 このツリーは以前から本

新たに姿を変え「クリスマ ツリーが出現する。今年は 庭園内に巨大なクリスマス 原の箱根ガラスの森美術館 毎年一一月になると仙石

いた。しかし、箱根ガラス

ジで時間を確認して出かけ いが、秋号第二版での掲載 には暗くなってくるので、 よう。一一月でも一七時頃 **延長されるので、ホームペー** やはり夕方。クリスマスイ に踏み切った。 ただきたいと考え、少し早 き、お客様にお知らせして いらっしゃることに気が付 れることをご存じない方が クリスマスツリーが展示さ の森美術館にお客様を送迎 している中で、この時期に /前後は例年、 人でも多くの方にご覧い 見学のお薦めの時間帯は 営業時間が

やってくると言われている。

がいる。是非見つけて欲し カップルのふくろうサンタ い。見つけられれば幸せが 変化を楽しむのもお薦めだ。 の光で輝く姿からライトアッ プされた幻想的な光景への なお、ツリーのどこかに

のヴェネチアの街並みを思 り箱根を代表する美術館だ。 館三〇周年を迎える文字通 ラスの森美術館を紹介する。 館として開館、 チアン・グラス専門の美術 八月八日、日本初のヴェネ 平成八年 (一九九六年) 今号では引き続き箱根ガ 入館すると目の前に中世 来年には開

ラスが美しい。 る。正面に見えるのは ばめられている。陽に当たっ スが幅一〇メートル、高さ の回廊・コッリドイヨ」だ。 九メートルのアーチに散り 十六万粒のクリスタルガラ て風で揺れるクリスタルガ 光





要素しな必要能などのの変態を

ご自由にお持ちくださ

める。早めに出かけて、 真っ白に輝くツリーが楽し

わせる風景が飛び込んでく

なオブジェが展示されてい リスタルガラスを使った様々 この美術館の庭園にはな

え、風に揺れる姿には驚か 大きな坏身(つきみ)を支

くおり、庭園と合わせてちょっ

には美しい壁画も表現され



すきの風景がクリスタルガ 示エリアがある。 もクリスタルオブジェの展 廊・コッリドイヨ」の他に いるのが特徴だ。「光の回 夏には紫陽花、秋にはす

の光だけで輝きを表現して

てクリスタルガラスと自然

るが、電飾を使わず、すべ 登場するのもこの場所だ。 トルのクリスマスツリーが ラスで表現される。

た作品はどれもため息が出 た様々な作品が展示されて るほどだ。 いる。美しく精巧に造られ が美術館。ガラスで造られ ヨ」を渡って入館する建物 葉が楽しめる。 小径」では一一月頃には紅 また、庭園奥の「紅葉の 「光の回廊・コッリドイ

ものだが、一〇〇年以上の グラス」と呼ばれる作品。 しているのは「風にそよぐ 特に本紙編集長がお薦め 一八九五年に制作された

細いステム

(脚部)







季節によ

なお、カフェで一日六回

が、美術館の館内でもコン 開されているので、お見逃 開催される生演奏は有名だ が味わえる。 としたイタリア旅行の気分 されるだろう。館内の天井 ムページで曜日と時間が公 サートが開かれている。ホー

しのないようにして欲しい。

〜ランチ営業開始〜 河屋Caf

一一月には高さ一〇メー

古い宿がある。二〇二〇年 涌谷には一八八三年創業の ンジをカフェとしてオープ に藤田観光株式会社が取得 二〇二一年には本館のラウ た箱根小涌園三河屋旅館。 箱根の中心に位置する小









満足だったとコメント。 とっても美味しくて、この を堪能。どちらも一、 ボリュームでこの値段。 膳」と「鹿肉ギーマーカレー」 御膳」と「鹿肉キーマーカ メニューは「御殿鶏釜めし ついにランチ営業を開始。 〇円 (税込み)。 めながら「御殿鶏釜めし御 て、二回訪問。外輪山を眺 ンチ営業中」の幟を見つけ レー」。本紙編集長は「ラ ンしたのだが、今年七月、 一回目は抹茶パフェもオー 大

, H P 開 設 一 一周年~

ようお願いいたします。

業にも慣れ、今年一月中旬 毎日でしたが、少しずつ作 ページ開設一周年を迎えま 続できるのか自問自答する 入やデータの更新にも四苦 八苦する状況で、活動が継 した。開設当初は画像の挿 七月二〇日(日)にホーム 箱根観光情報新聞は今年

お客様が立寄るため、早い 時三〇分)だが、チェック 時~一五時まで(LO一四 も美味しかったとのこと。 ダー。赤と黒に塗られた桝 時間の利用がお薦めらしい。 リーム、白玉、クッキーの で提供されるパフェ。生ク インの手続きの際に宿泊の 下は抹茶のプリン。こちら なお、カフェ営業は一



詳細をお伝え出来ない場合 などをご確認くださいます ジなどで営業日、営業時間 がございます。お手数をお 紙面の都合上、お店の場所 限り正確に情報をお伝えす 前にお店や施設のホームペー かけしますが、訪問される や営業日、営業時間などの るよう努力しておりますが 本紙ではお客様にできる

行い、観光情報にアクセス には大幅なリニューアルを

箱根観光情報新聞QRコード



箱根に観光に来たけれど 「どこを見たらいいかわからない。」 「効率的に観光したいけれど・・・。」 とお悩みのあなた 箱根観光は登山ハイヤーがお薦めです。



クセス人数は延べ約三六、 月一五日からの一年間のア データが確認できる昨年八

八〇〇名、アクセス件数は

一二一、六〇〇件に上りま

アクセス数が大幅に増加。 のページを新設。その後、 とともに「編集長の思い出」 しやすいパージに改修する

を発信してまいりますので す。今後も箱根の観光情報